

令和5年度 事業計画書

令和4年4月1日 から 令和5年3月31日まで

特定非営利活動法人ICT救助隊

1 事業実施の方針

【パソコン等講習事業】

障害者施設等からの要望があった場合に対応したいと思います。

【支援者養成講習事業】

令和5年度も一般社団法人日本難病・疾病団体協議会から令和5年度厚生労働省補助事業「難病患者サポート事業」「重症難病患者のコミュニケーション支援者養成講座」の委託が決まりました。オンライン24回、集合研修2回を予定しています。

新型コロナの5類移行にともない、集合研修を無理ない範囲で開催していくとともに、Zoom やオンデマンドなど様々な発信方法で、支援の知識を広めていきたいと思っています。

訪問看護や介護事業所などからの講習会依頼が増えていますので、臨機応変に対応したいと思います。

【出張サポートおよび個別相談事業】

今年度も東京都立城南特別支援学校から外部専門員の委託が決まりました。

訪問サポートは、オンラインでの遠隔サポートも活用しながら当事者の支援を行います。

【イベント事業】

開催に協力している「自分をプレゼン!」は、10回という区切りの開催になるため、開催場所を名古屋として、更に広げていきたいと思っています。

他団体からのイベント開催における配信等のサポートの依頼が増えています。ノウハウの蓄積とともに、機材の拡充を図りたいと思っています。

【技術開発、普及事業】

貸出事業は、今年度日本財団から「神経難病患者への支援機器貸出」として助成が決定し、更に支援機器の拡充を図ります。同時に、支援機器のマニュアル作成と支援機器保有状況のデータ化を進めます。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施予定日時	実施予定場所	従事者の予定人数	受益対象者の範囲	支出見込額(千円)
パソコン等講習事業	難病患者、障害者等へのコミュニケーション支援機器、パソコン、携帯電話など情報機器を操作する等の技術習得を援助する講習	—	—	—	—	—

支援者養成 講習事業	コミュニケーション支援機器、 パソコン、携帯電話など情報 機器を操作する等の技術習 得を援助する人材を育成する 講座 ・一般社団法人日本難病疾 病団体委託事業 ・浜松市・神経難病療養者の 支援者の会 ・東京都障害者 IT 地域支援 センター養成講座 ・重度訪問介護者養成講座 (川崎市) ・大学演習 日本赤十字看護大学 東京純心大学 東京都立大学 東京医科大学 昭和大学	24回 2回 7月22日 23日 7月25日 7月28日 9月12日 5月17日 6月13日 6月16日 6月27日 7月6日	オンライン 全国の施設 浜松市 〃 オンライン 〃 川崎市 渋谷区 八王子市 足立区 新宿区 横浜市	48名 8名 5名 5名 1名 1名 2名 4名 3名 4名 2名 6名	医療、介 護、福祉 関係の支 援者や当 事者、家 族など	3,000
出張サポート および個別相 談事業	難病患者、障害者等へのコミ ュニケーション支援機器、パソ コン、携帯電話など情報機器 を操作する等の技術習得を 援助する出張サポートあるい は個別相談を行う事業。 ・東京都立城南特別支援学 校	随時 19回	患者宅、病院 等の現地 オンライン、 電話等	30名 10名 36名	医療、介 護、福祉 関係の支 援者や当 事者、家 族など	1,200
生活支援、外 出補助事業	難病患者・障害者を含む一 般市民の日常生活における 家事援助等日々の生活支援、 及び外出補助を行う事業	—	—	—	—	—
イベント事業	難病患者・障害者の社会参 画を援助し、QOL(生活の質) を高めるための講座、イベント 等を行う事業 ・自分をプレゼン! ・日本 ALS 協会総会 ・日本 ALS 協会福島県支部	1回 5月27日 6月24日	名古屋市 新宿区 郡山市	4名 3名	医療、介 護、福祉 関係の支 援者や当 事者、家 族など	70
技術開発、普 及事業	難病患者、障害者を含む一 般市民の生活およびコミュニ ケーション、IT 環境をサポート するための新技術開発、研 究、普及に関する事業。	随時	随時	20名	医療、介 護、福祉 関係の支 援者や当 事者、家	800

	・支援機器貸出			50名	族など	
社会参画、就 労支援事業	難病患者、障害者等の社会 参画を援助し、職業能力の開 発又は雇用機会の拡充を支 援する事業。	—	—	—	—	—
その他事業	その他上記の事業の目的を 達成するために必要な事業	—	—	—	—	—